

バイオマス取組事例概要

(農村振興局長賞)

九州

- 応募主体 南国興産株式会社
- 都道府県・市町村 宮崎県都城市
- 取組分野 発電(鶏糞)、飼料化

取組概要

鶏糞燃焼による発電及び蒸気利用。

南国興産(株)は食品残渣(食肉処理場等から発生する不可食部、食品工場等から排出されるジュースかす、焼酎かす)等のバイオマスから飼料原料、ペットフード原料等の製造を行い、これらが不可能なものは肥料製造の事業展開を図ってきた。

南国興産(株)は、家畜排泄物の農地還元による地下水の汚染の回避、飼料化等に要する大量のエネルギーのバイオマス化が必要であると考え、平成14年度から地域に多量に賦存する鶏糞のエネルギー利用を行っている。

宮崎県内の鶏糞の約1/3に当る10万t/年を同社内のボイラーで燃焼させ、発生した蒸気(30万t/年)の利用、発電(1,150万kWh/年)を行い、自社で利用している。

なお、余剰電力は九州電力に売電(約56万kWh/年を平均5円/kWhで売電)し、焼却灰(1万t/年)についても肥料及び肥料原料として販売している。



発電タービン室

鶏糞ボイラーファン施設